

## 障がいのある人への差別の実態把握のためのアンケート結果【概要版】 職員用

### 【アンケートの目的】

習志野市障がい者地域共生協議会では、令和元年度より障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第17条第1項に基づく「習志野市障がい者差別解消支援地域協議会」の役割を担い、障がいのある人に対する障がいを理由とする差別の解消に向けて、様々な取り組みを推進しております。

しかしながら、現在本市の障がいのある人への差別の実態把握は不足しています。そこで、更なる取り組み内容の検討にあたり、実態の把握を行うため、アンケートを実施するものです。

### 【アンケート配布数】

市職員(令和2年7月1日現在) 2,563部

### 【アンケート方法】

グループウェアのアンケート機能にて回答(グループウェアが利用できない職員は、アンケート用紙にて回答)

### 【回答期間】

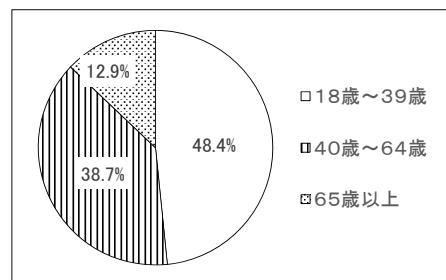
令和2年7月2日(木)～17日(金)

### 【回答状況】

職員用… 1,285名 (回答率 50%)

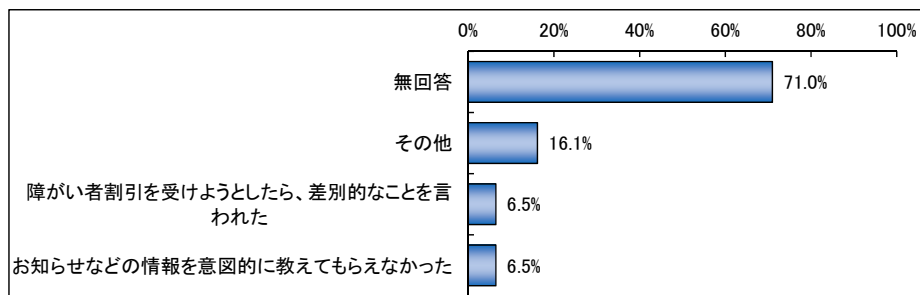


### 【回答者年齢別割合】



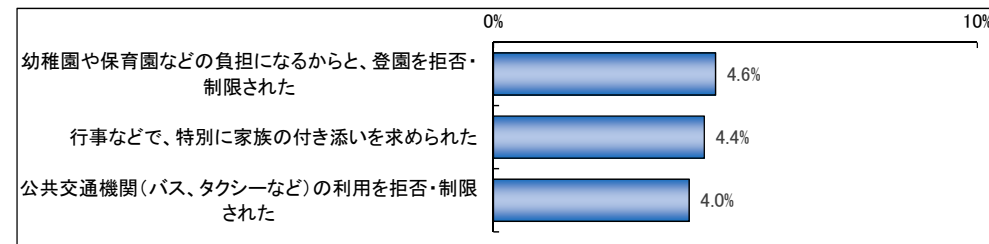
### 【アンケート結果】

問 あなたは、障がいを理由とする差別をされたと感じたことがありますか。【回答者:障がいのある職員】



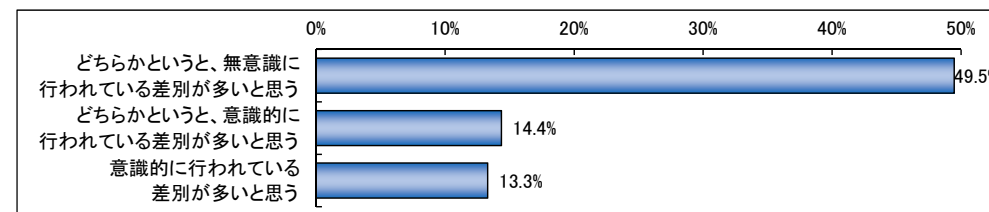
結果の説明:無回答が71%で最も高く、次いでその他16.1%、「障がい者割引を受けようとしたら、差別的なことを言われた」及び「お知らせなどの情報を意図的に教えてもらえなかった」が6.5%と高くなっています。

問 障がいのある人への障がいを理由とする差別について、見たり聞いたりしたことがありますか。【回答者:全職員】



結果の説明:無回答の85.4%を除き、「幼稚園や保育園などの負担になるからと、登園を拒否・制限された」が4.6%、「行事などで、特別に家族の付き添いを求められた」が4.4%、「公共交通機関(バス、タクシーなど)の利用を拒否・制限された」が4.0%となっています。

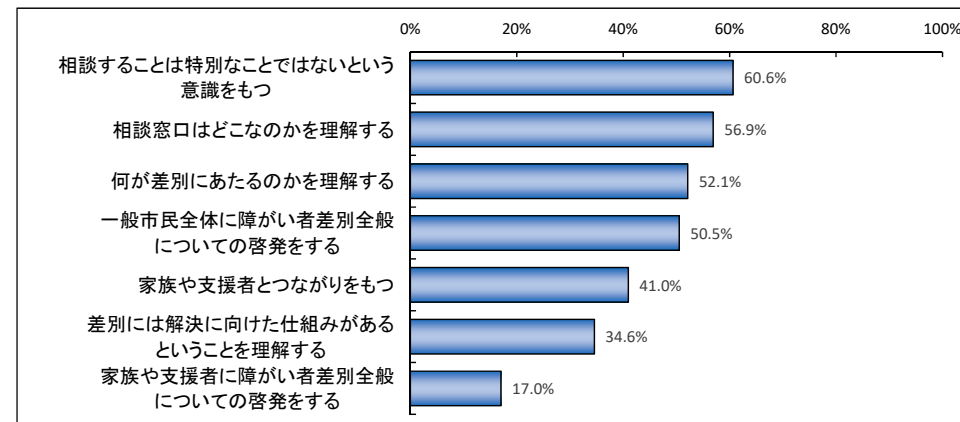
問 差別をする人の意識についてどう思いますか。【回答者:全職員中、障がいのある人への障がいを理由とする差別について、見たり聞いたりしたことがある職員】



結果の説明:「どちらかという、無意識に行われている差別が多いと思う」が約49%で最も高く、次いで「どちらかという、意識的に行われている差別が多いと思う」が約14%、「意識的に行われている差別が多いと思う」が約13%と高くなっています。

問 差別をされた人が、差別の相談窓口に相談できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【回答者:全職員中、障がいのある人への障がいを理由とする差別について、見たり聞いたりしたことがある職員】



結果の説明:「相談することは特別なことではないという意識をもつ」が60%を超えて最も高く、次いで「相談窓口はどこなのかを理解する」「何が差別にあたるのかを理解する」「一般市民全体に障がい者差別全般についての啓発をする」が過半数を超えています。